

県内企業景況調査結果

[2022年7～9月期実績、2022年10～12月期見通し]

沖縄振興開発金融公庫 調査部発表

— 県内景況は、持ち直しの動きが広がる —

調査結果のポイント

1. 業況判断 D.I.

実績（7～9月期）：「好転」超幅が大幅に拡大し、2期連続のプラス
〔前期 4.0%ポイント（以下、単位省略）⇒当期 16.7〕

- ・原材料高等の影響あるも、人流の回復等により
飲食・観光関連産業を中心に幅広い業種で業況感が改善した

見通し（10～12月期）：来期は「好転」超幅がやや縮小するも、
「好転」超を維持する見通し（来期 11.9）

- ・原材料高等の影響を引き続き懸念するも、持ち直しの動きが続き、
プラス維持の見込み

2. 景況天気

実績：「☁️（薄曇り）」→「☀️（晴れ）」（前期 6.7 ⇒ 当期 16.2）
建設業で引き続き「☁️（曇り）」、情報通信業で引き続き「☁️（薄曇り）」
卸売業、運輸業、サービス業で引き続き「☀️（晴れ）」
小売業で「☁️（薄曇り）」→「☀️（快晴）」
飲食店・宿泊業で「☀️（晴れ）」→「☀️（快晴）」
製造業で「☁️（薄曇り）」→「☀️（晴れ）」

見通し：「☀️（晴れ）」となる見通し（来期 11.3）
小売業、飲食店・宿泊業で「☀️（快晴）」→「☀️（晴れ）」
製造業で「☀️（晴れ）」→「☁️（薄曇り）」
卸売業、運輸業、サービス業で引き続き「☀️（晴れ）」
情報通信業で引き続き「☁️（薄曇り）」、建設業で引き続き「☁️（曇り）」

3. 売上 D.I.

実績：「増加」超幅が大幅に拡大（同 14.6⇒同 28.4）
見通し：「増加」超幅がやや縮小（同 25.1）

4. 採算水準 D.I.

実績：「黒字」超幅が拡大（同 8.2⇒同 17.3）
見通し：「黒字」超幅が縮小（同 12.2）

5. 資金繰り D.I.

実績：「苦しい」超から「楽」超に転じる（同△2.7⇒同 3.0）
見通し：「楽」超から「苦しい」超へ転じる（同△3.3）

沖縄振興開発金融公庫 調査部

[調査内容についてのお問い合わせ先]

調査部 金融経済調査課（担当：國吉）

沖縄県那覇市おもろまち 1-2-26

電話：098-941-1725 FAX：098-941-1920

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
		(A)	(B)	(B)/(A)×100
全産業	全産業	375	335	89.3
	製造業	68	64	94.1
	建設業	68	61	89.7
	卸売業	48	46	95.8
	小売業	48	41	85.4
	運輸業	36	31	86.1
	情報通信業	23	21	91.3
	サービス業	46	41	89.1
	飲食店・宿泊業	35	27	77.1

※全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し、自計記入を求める方法による。

5. 調査対象期間

当期 … 2022年7～9月期実績 来期 … 2022年10～12月期見通し

6. 調査実施期間

2022年8月下旬～2022年9月下旬
(発送：2022年8月25日、回収基準日：2022年9月9日)

7. 用語説明等

- (1) 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- (2) D. I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- (3) 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD. I. を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

II. 調査結果

1. 業況判断

— 当期は「好転」超幅が大幅に拡大し、2期連続のプラス
来期は「好転」超幅がやや縮小するも、「好転」超を維持する見通し —

(1) [2022年7~9月期実績]

自社の業況を総合的に判断する業況判断D. I. は、16.7%ポイント（以下、単位省略）と、「好転」超幅が大幅に拡大となった。

業種別にみると、情報通信業で「悪化」超幅が横這いとなったものの、卸売業で「悪化」超から「好転」超に転じ、小売業、サービス業で「好転」超幅が大幅に拡大、飲食店・宿泊業で「好転」超幅が拡大、運輸業で「好転」超幅がやや拡大、製造業で「悪化」超から「保合い」となり、建設業で「悪化」超幅が縮小となった。

(2) [2022年10~12月期見通し]

来期の業況判断D. I. は11.9と、「好転」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、運輸業で「好転」超幅がやや拡大、建設業、情報通信業で「悪化」超幅がやや縮小となるものの、製造業で「保合い」から「悪化」超となり、飲食店・宿泊業で「好転」超幅が大幅に縮小、卸売業、小売業で「好転」超幅が縮小、サービス業で「好転」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

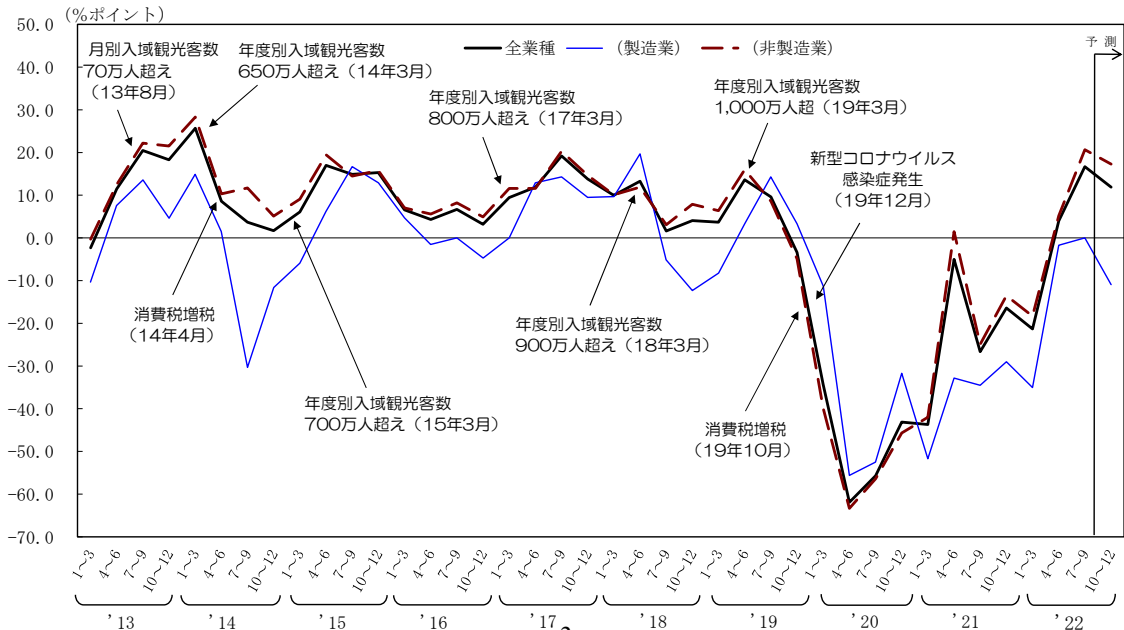
図表1-1. 業況判断D.I.

参考: 業況判断D. I. (前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年			2022年				
		4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 前回実績	7~9月期 前回見通し 今回実績	10~12月期 前回見通し	
全産業	D. I. (①-②)	△ 5.0	△ 26.6	△ 16.4	△ 21.3	4.0	(9.1)	16.7	11.9
	① 好転(%)	25.7	15.1	18.8	15.0	29.9	(31.7)	35.5	30.1
	不変(%)	43.5	43.2	46.1	48.6	44.2	(45.7)	45.7	51.6
	② 悪化(%)	30.8	41.7	35.1	36.3	25.9	(22.6)	18.8	18.2
製造業		△ 32.8	△ 34.5	△ 29.0	△ 35.0	△ 1.7	(10.0)	0.0	△ 10.9
建設業		△ 10.8	△ 25.0	△ 21.0	△ 24.6	△ 27.9	(△23.0)	△ 18.0	△ 13.1
卸売業		△ 7.7	△ 29.3	△ 25.6	△ 29.5	△ 17.1	(△2.4)	28.3	21.7
小売業		4.5	△ 40.5	△ 7.5	△ 20.5	12.8	(7.7)	34.1	24.4
運輸業		20.0	△ 26.5	△ 5.9	△ 21.9	27.3	(18.2)	32.3	35.5
情報通信業		11.1	9.5	19.0	△ 5.0	△ 9.5	(0.0)	△ 9.5	△ 4.8
サービス業		2.4	△ 7.1	△ 9.8	△ 16.3	9.8	(22.0)	24.4	19.5
飲食店・宿泊業		7.1	△ 48.1	△ 23.3	0.0	72.4	(69.0)	81.5	63.0

図表1-2. 業況判断D. I. の推移



2. 景況天気

— 当期は11期ぶりに「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し —

(1) [2022年7~9月期実績]

当期の県内企業の動向を全産業ベースで見ると、資金繰りD. I. ($\Delta 2.7 \rightarrow 3.0$)で「苦しい」超から「楽」超に転じ、売上D. I. (14.6 \rightarrow 28.4)で「増加」超幅が大幅に拡大、採算水準D. I. (8.2 \rightarrow 17.3)で「黒字」超幅が拡大したことから、景況天気(6.7 \rightarrow 16.2)は「晴れ」となった。

業種別にみると、建設業で引き続き「曇り」、情報通信業で引き続き「薄曇り」、卸売業、運輸業、サービス業で引き続き「晴れ」となったものの、小売業で「薄曇り」から「快晴」、飲食店・宿泊業で「晴れ」から「快晴」、製造業で「薄曇り」から「晴れ」となった。

(2) [2022年10~12月期見通し]

来期の見通しは、資金繰りD. I. ($\Delta 3.3$)で「楽」超から「苦しい」超へ転じ、採算水準D. I. (12.2)で「黒字」超幅が縮小、売上D. I. (25.1)で「増加」超幅がやや縮小となることから、景況天気(11.3)は「晴れ」の見通しとなっている。

業種別にみると、小売業、飲食店・宿泊業で「快晴」から「晴れ」、製造業で「晴れ」から「薄曇り」となるものの、卸売業、運輸業、サービス業で引き続き「晴れ」、情報通信業で引き続き「薄曇り」、建設業で引き続き「曇り」の見通しとなっている。

図表2-1. 景況天気図

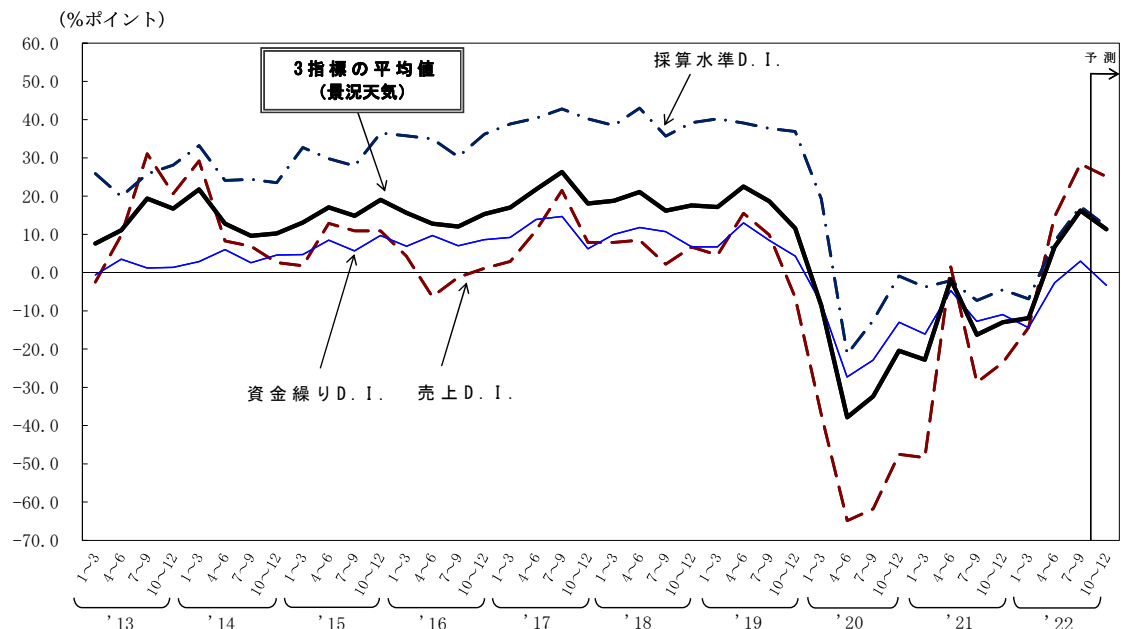
参考: 景況天気 (売上、採算水準、資金繰りD. I. の平均値)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年			2022年				
		4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 前回実績	7~9月期 前回見通し	今回実績	10~12月期 今回見通し
全産業		☁ $\Delta 1.8$	☁ $\Delta 16.2$	☁ $\Delta 13.0$	☁ $\Delta 11.9$	☁ 6.7	☁ (7.3)	☀ 16.2	☀ 11.3
製造業		☁ $\Delta 13.0$	☁ $\Delta 25.9$	☁ $\Delta 21.5$	☁ $\Delta 19.4$	☁ 5.0	☁ (9.4)	☀ 12.0	☁ 2.1
建設業		☁ $\Delta 3.6$	☁ $\Delta 6.8$	☁ $\Delta 8.1$	☁ $\Delta 1.1$	☁ $\Delta 6.0$	☁ ($\Delta 8.7$)	☁ $\Delta 7.1$	☁ $\Delta 5.5$
卸売業		☁ 4.3	☁ $\Delta 4.1$	☁ $\Delta 5.4$	☁ 1.5	☀ 10.6	☀ (17.9)	☀ 24.6	☀ 23.2
小売業		☁ 0.0	☁ $\Delta 24.6$	☁ $\Delta 9.2$	☁ $\Delta 17.1$	☁ 6.8	☁ (9.4)	☀ 32.5	☀ 26.8
運輸業		☁ 5.7	☁ $\Delta 18.6$	☁ $\Delta 9.8$	☁ $\Delta 26.0$	☀ 16.2	☁ (9.1)	☀ 20.4	☀ 26.9
情報通信業		☁ 9.3	☁ $\Delta 3.2$	☁ 3.2	☁ $\Delta 1.7$	☁ $\Delta 3.2$	☁ ($\Delta 6.3$)	☁ $\Delta 1.6$	☁ $\Delta 1.6$
サービス業		☁ 7.9	☁ $\Delta 4.0$	☁ $\Delta 13.8$	☁ $\Delta 16.3$	☀ 15.4	☀ (10.6)	☀ 23.6	☀ 13.8
飲食店・宿泊業		☁ $\Delta 16.7$	☔ $\Delta 53.1$	☔ $\Delta 38.9$	☁ $\Delta 20.8$	☀ 12.6	☀ (19.5)	☀ 34.6	☀ 12.3

☀ 快晴 — 30以上~100以下 ☁ 晴 — 10以上~30未満 ☁ 薄曇り — $\Delta 5$ 以上~10未満
 ☁ 曇り — $\Delta 30$ 以上~ $\Delta 5$ 未満 ☔ 雨 — $\Delta 100$ 以上~ $\Delta 30$ 未満

図表2-2. 売上,採算水準,資金繰りD. I. の推移 (全業種)



3. 売上

— 当期は「増加」超幅が大幅に拡大、
来期は「増加」超幅がやや縮小となる見通し —

(1) [2022年7~9月期実績]

当期の売上D. I. は28.4と、「増加」超幅が大幅に拡大となった。

業種別にみると、卸売業、小売業、運輸業、飲食店・宿泊業で「増加」超幅が大幅に拡大、情報通信業、サービス業で「増加」超幅が拡大、製造業で「増加」超幅がやや拡大、建設業で「減少」超幅が縮小となった。

(2) [2022年10~12月期見通し]

来期の売上D. I. は25.1と、「増加」超幅がやや縮小となる見通しとなっている。

業種別にみると、運輸業で「増加」超幅が大幅に拡大、卸売業で「増加」超幅が拡大、建設業で「減少」超幅が縮小となるものの、情報通信業で「増加」超から「保合い」、製造業、飲食店・宿泊業で「増加」超幅が大幅に縮小、小売業、サービス業で「増加」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

図表3-1. 売上D.I.

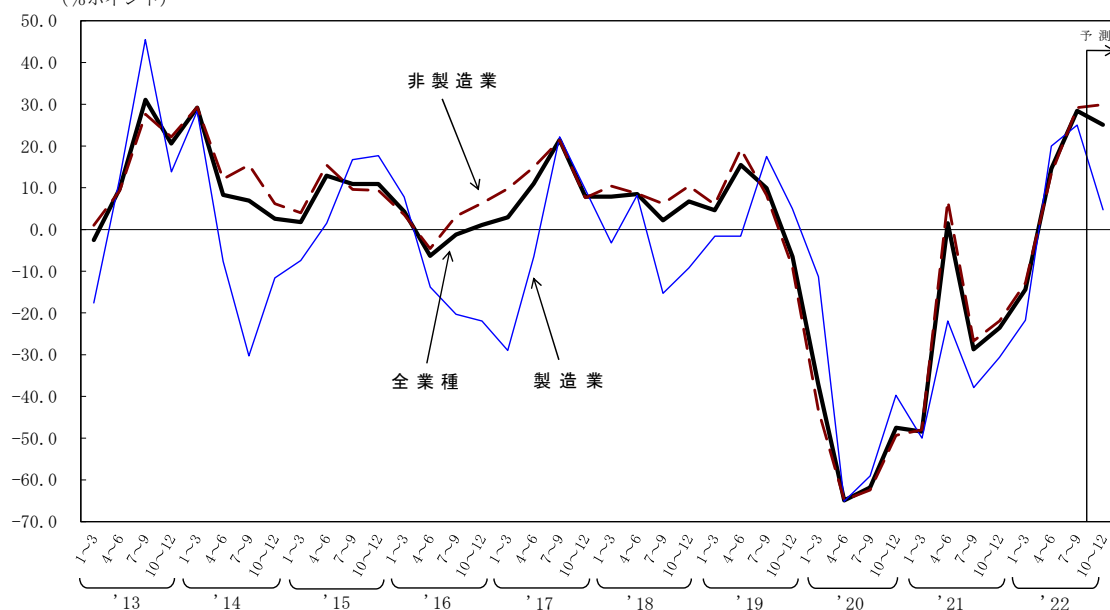
参考: 売上D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

区分 業種	2021年			2022年				
	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期		10~12月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D. I. (①—②)	1.5	△ 28.7	△ 23.5	△ 14.4	14.6	(17.4)	28.4	25.1
① 増加(%)	37.3	22.4	25.0	27.0	43.9	(40.5)	52.2	44.8
不変(%)	26.9	26.6	26.5	31.5	26.8	(36.3)	23.9	35.5
② 減少(%)	35.8	51.1	48.5	41.4	29.3	(23.2)	23.9	19.7
製造業	△ 21.9	△ 37.9	△ 30.6	△ 21.7	20.0	(20.0)	25.0	4.7
建設業	△ 33.8	△ 31.3	△ 41.9	△ 24.6	△ 37.7	(△ 31.1)	△ 27.9	△ 18.0
卸売業	△ 10.3	△ 31.7	△ 23.3	2.3	7.3	(24.4)	30.4	37.0
小売業	11.4	△ 40.5	△ 20.0	△ 23.1	10.3	(17.9)	41.5	36.6
運輸業	37.1	△ 17.6	5.9	△ 15.6	36.4	(24.2)	51.6	67.7
情報通信業	11.1	△ 4.8	0.0	△ 25.0	4.8	(0.0)	14.3	0.0
サービス業	31.0	△ 2.4	△ 26.8	△ 14.0	36.6	(36.6)	43.9	39.0
飲食店・宿泊業	42.9	△ 59.3	△ 23.3	9.4	79.3	(79.3)	96.3	77.8

図表3-2. 売上D. I. の推移

(%ポイント)



4. 採算水準

— 当期は「黒字」超幅が拡大、来期は「黒字」超幅が縮小の見通し —

(1) [2022年7～9月期実績]

当期の採算水準D. I. は17.3と、「黒字」超幅が拡大となった。

業種別にみると、情報通信業で「保合い」から「赤字」超、建設業で「黒字」超幅が大幅に縮小、運輸業で「黒字」超幅がやや縮小となったものの、製造業、卸売業、小売業、サービス業で「黒字」超幅が大幅に拡大、飲食店・宿泊業で「赤字」超幅が大幅に縮小となった。

(2) [2022年10～12月期見通し]

来期の採算水準D. I. は12.2と、「黒字」超幅が縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、運輸業で「黒字」超幅が拡大、情報通信業で「赤字」超から「保合い」、建設業で「黒字」超幅が横這いとなるものの、飲食店・宿泊業で「赤字」超幅が大幅に拡大、製造業、サービス業で「黒字」超幅が大幅に縮小、卸売業、小売業で「黒字」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

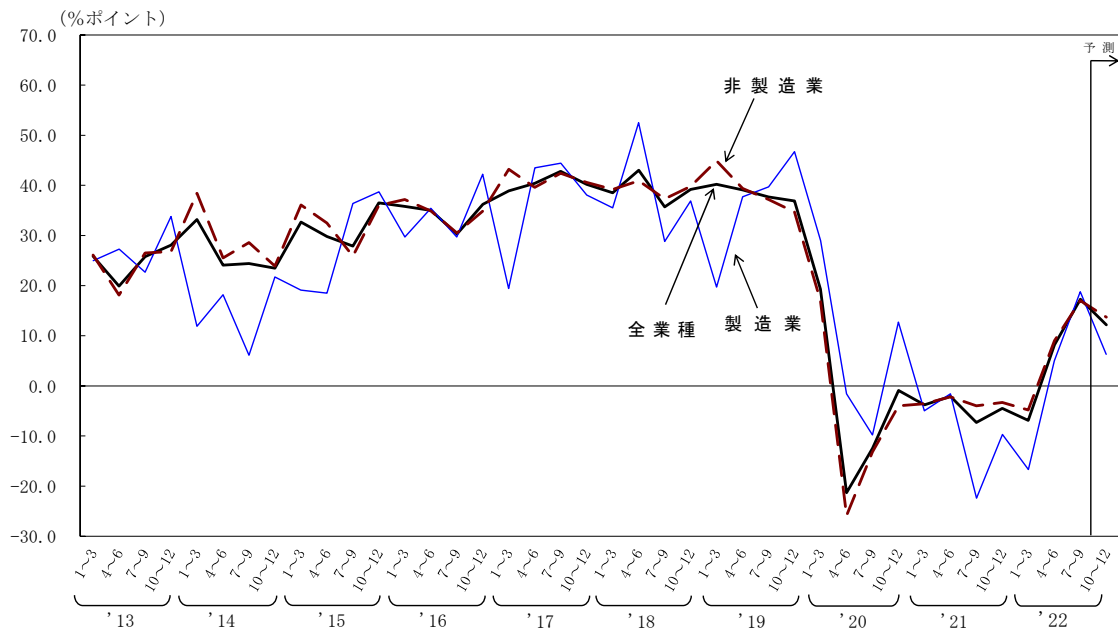
図表4-1. 採算水準D.I.

参考:採算水準D. I. (当該期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年			2022年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期 実績	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績		前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D. I. (①—②)		△ 2.1	△ 7.3	△ 4.5	△ 6.9	8.2	(8.5)	17.3	12.2
	① 黒字(%)	32.0	27.8	29.2	29.4	33.5	(33.2)	39.7	32.2
	トントン(%)	34.0	37.2	37.2	34.2	41.2	(42.1)	37.9	47.8
	② 赤字(%)	34.0	35.0	33.6	36.3	25.3	(24.7)	22.4	20.0
製造業		△ 1.6	△ 22.4	△ 9.7	△ 16.7	5.0	(15.0)	18.8	6.3
建設業		21.5	17.2	16.1	23.0	23.0	(9.8)	8.2	8.2
卸売業		20.5	19.5	14.0	13.6	26.8	(36.6)	45.7	41.3
小売業		△ 2.3	△ 14.3	5.0	△ 10.3	7.7	(7.7)	31.7	29.3
運輸業		△ 14.3	△ 20.6	△ 26.5	△ 34.4	15.2	(3.0)	12.9	22.6
情報通信業		22.2	4.8	14.3	35.0	0.0	(△14.3)	△ 9.5	0.0
サービス業		△ 9.5	△ 2.4	△ 12.2	△ 20.9	4.9	(2.4)	17.1	4.9
飲食店・宿泊業		△ 85.7	△ 66.7	△ 60.0	△ 56.3	△ 44.8	(△20.7)	△ 14.8	△ 37.0

図表4-2. 採算水準D. I. の推移



5-1. 資金繰り

— 当期は「苦しい」超から「楽」超に転じ、 来期は「楽」超から「苦しい」超へ転じる見通し —

(1) [2022年7～9月期実績]

当期の資金繰りD. I.は3.0と、「苦しい」超から「楽」超に転じた。
業種別にみると、建設業、卸売業、運輸業で「苦しい」超幅がほぼ横這いとなったものの、小売業、飲食店・宿泊業で「楽」超幅が大幅に拡大、サービス業で「楽」超幅がやや拡大、製造業、情報通信業で「苦しい」超幅がやや縮小となった。

(2) [2022年10～12月期見通し]

来期の資金繰りD. I.は△3.3と、「楽」超から「苦しい」超へ転じる見通しとなっている。

業種別にみると、製造業、情報通信業で「苦しい」超幅がやや縮小となるものの、サービス業、飲食店・宿泊業で「楽」超から「苦しい」超へ転じ、卸売業、運輸業で「苦しい」超幅が拡大、建設業で「苦しい」超幅がやや拡大、小売業で「楽」超幅が縮小の見通しとなっている。

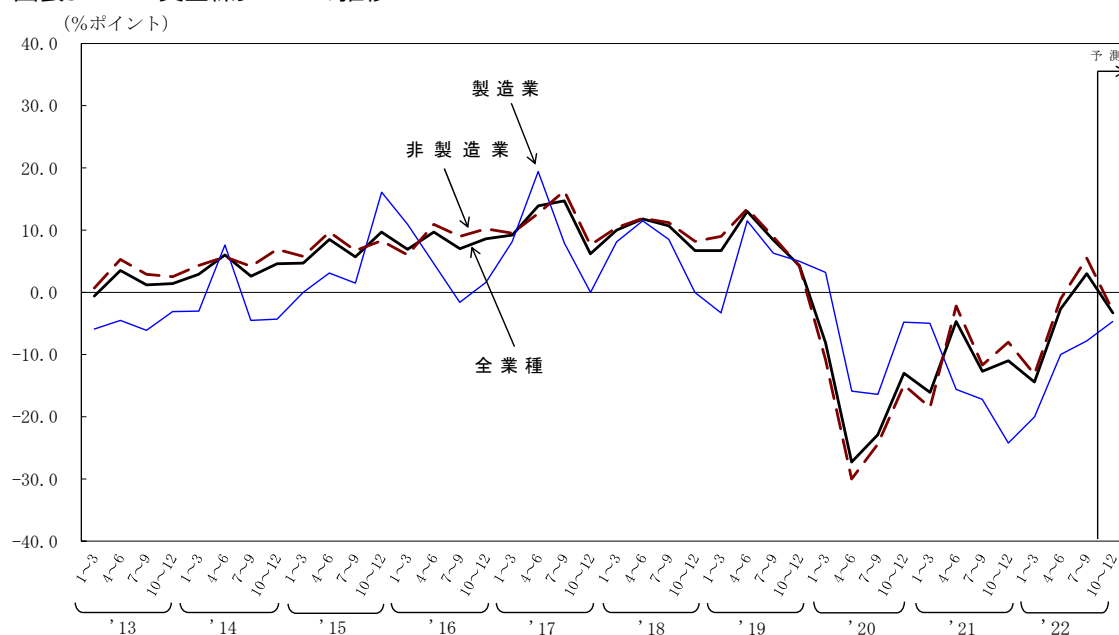
図表5-1-1. 資金繰りD.I.

参考:資金繰りD.I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位: %ポイント)

区分 業種	2021年			2022年				
	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 前回実績	7～9月期		10～12月期
						前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	△ 4.7	△ 12.7	△ 11.0	△ 14.4	△ 2.7	(△4.0)	3.0	△ 3.3
① 楽 (%)	9.8	4.2	6.0	3.3	6.7	(5.8)	13.1	8.4
不変 (%)	75.7	78.9	77.1	79.0	83.8	(84.5)	76.7	80.0
② 苦しい (%)	14.5	16.9	17.0	17.7	9.5	(9.8)	10.1	11.6
製造業	△ 15.6	△ 17.2	△ 24.2	△ 20.0	△ 10.0	(△6.7)	△ 7.8	△ 4.7
建設業	1.5	△ 6.3	1.6	△ 1.6	△ 3.3	(△4.9)	△ 1.6	△ 6.6
卸売業	2.6	0.0	△ 7.0	△ 11.4	△ 2.4	(△7.3)	△ 2.2	△ 8.7
小売業	△ 9.1	△ 19.0	△ 12.5	△ 17.9	2.6	(2.6)	24.4	14.6
運輸業	△ 5.7	△ 17.6	△ 8.8	△ 28.1	△ 3.0	(0.0)	△ 3.2	△ 9.7
情報通信業	△ 5.6	△ 9.5	△ 4.8	△ 15.0	△ 14.3	(△4.8)	△ 9.5	△ 4.8
サービス業	2.4	△ 7.1	△ 2.4	△ 14.0	4.9	(△7.3)	9.8	△ 2.4
飲食店・宿泊業	△ 7.1	△ 33.3	△ 33.3	△ 15.6	3.4	(0.0)	22.2	△ 3.7

図表5-1-2. 資金繰りD.I.の推移



5-2. 借入難易

— 当期は「容易」超幅がほぼ横這い、 来期は「容易」超から「困難」超へ転じる見通し —

(1) [2022年7～9月期実績]

当期の民間金融機関からの借入難易D. I. は1.2と、「容易」超幅がほぼ横這いとなった。業種別にみると、建設業で「容易」超から「困難」超へ転じ、飲食店・宿泊業で「困難」超幅がやや拡大、運輸業で「容易」超幅がやや縮小となったものの、卸売業、小売業で「保合い」から「容易」超、情報通信業、サービス業で「困難」超から「保合い」、製造業で「容易」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2022年10～12月期見通し]

来期の借入難易D. I. は $\Delta 0.6$ と、「容易」超から「困難」超へ転じる見通しとなっている。

業種別にみると、情報通信業で「保合い」から「容易」超、運輸業で「容易」超幅が横這いとなるものの、製造業で「容易」超から「困難」超へ転じ、卸売業で「容易」超から「保合い」、小売業で「容易」超幅がやや縮小、サービス業で引き続き保合い、建設業、飲食店・宿泊業で「困難」超幅が横這いの見通しとなっている。

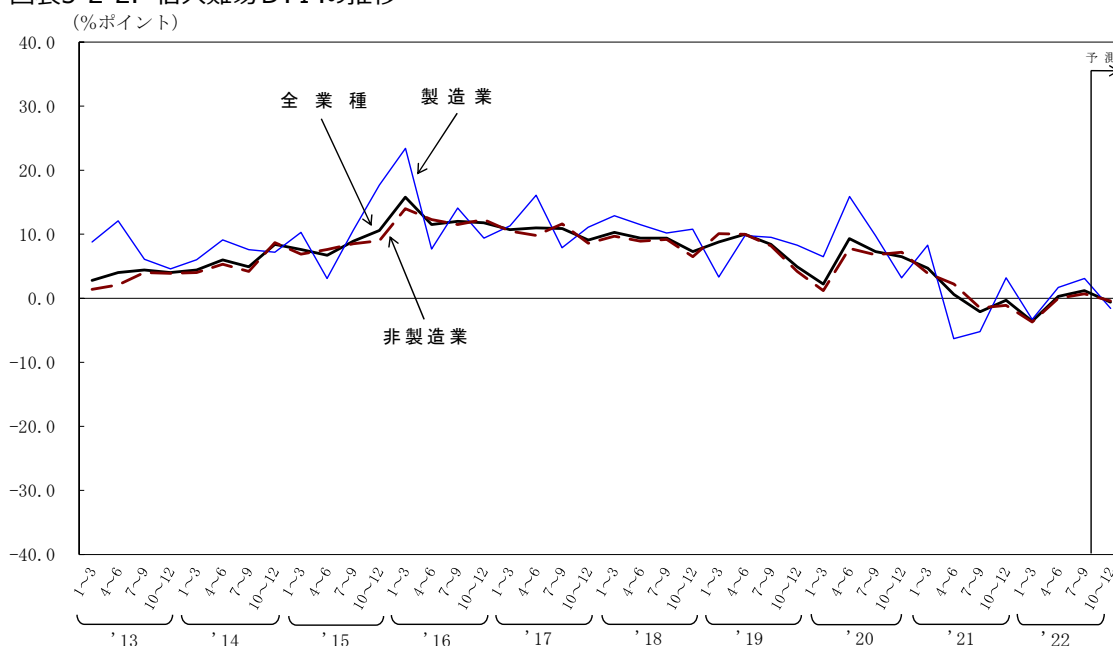
図表5-2-1. 借入難易D.I.

参考:借入難易D.I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年			2022年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期	10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	0.6	$\Delta 2.1$	$\Delta 0.3$	$\Delta 3.6$	0.3	($\Delta 2.4$)	1.2	$\Delta 0.6$
	① 容易(%)	6.5	4.5	5.1	3.3	4.9	(4.3)	4.8	4.5
	不変(%)	87.6	88.8	89.6	89.8	90.5	(89.0)	91.6	90.4
	② 困難(%)	5.9	6.6	5.4	6.9	4.6	(6.7)	3.6	5.1
製造業		$\Delta 6.3$	$\Delta 5.2$	3.2	$\Delta 3.3$	1.7	($\Delta 1.7$)	3.1	$\Delta 1.6$
建設業		1.5	1.6	0.0	$\Delta 1.6$	3.3	(3.3)	$\Delta 1.6$	$\Delta 1.6$
卸売業		2.6	$\Delta 2.4$	2.3	4.5	0.0	($\Delta 4.9$)	6.5	0.0
小売業		4.5	$\Delta 2.4$	$\Delta 5.0$	$\Delta 7.7$	0.0	($\Delta 2.6$)	4.9	2.4
運輸業		8.6	$\Delta 2.9$	$\Delta 2.9$	0.0	6.1	(0.0)	3.2	3.2
情報通信業		0.0	9.5	4.8	0.0	$\Delta 4.8$	($\Delta 9.5$)	0.0	4.8
サービス業		0.0	0.0	0.0	$\Delta 7.0$	$\Delta 2.4$	($\Delta 2.4$)	0.0	0.0
飲食店・宿泊業		$\Delta 3.6$	$\Delta 14.8$	$\Delta 6.7$	$\Delta 15.6$	$\Delta 6.9$	($\Delta 10.3$)	$\Delta 11.1$	$\Delta 11.1$

図表5-2-2. 借入難易D.I.の推移



Ⅲ. 参考

参考 1. 販売数量（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「増加」超幅が大幅に拡大、来期は「増加」超幅が縮小の見通し —

(1) [2022年7～9月期実績]

当期の販売数量D. I. は12.6と「増加」超幅が大幅に拡大となった。
業種別にみると、製造業で「増加」超から「減少」超に転じるものの、卸売業で「減少」超から「増加」超に転じ、小売業で「増加」超幅が大幅に拡大となった。

(2) [2022年10～12月期見通し]

来期の販売数量D. I. は4.6と、「増加」超幅が縮小の見通しとなっている。
業種別にみると、製造業で「減少」超幅が大幅に拡大、卸売業、小売業で「増加」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

表1. 販売数量D.I.

参考:販売数量D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年			2022年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	△ 10.2	△ 42.6	△ 30.3	△ 26.6	1.4	(3.6)	12.6	4.6
	① 増加(%)	30.6	15.6	21.4	21.7	36.4	(34.3)	41.1	33.8
	不変(%)	28.6	26.2	26.9	30.1	28.6	(35.0)	29.8	36.4
	② 減少(%)	40.8	58.2	51.7	48.3	35.0	(30.7)	28.5	29.1
	製造業	△ 25.0	△ 44.8	△ 37.1	△ 30.0	6.7	(△5.0)	△ 3.1	△ 17.2
	卸売業	△ 12.8	△ 36.6	△ 34.9	△ 27.3	△ 14.6	(2.4)	17.4	13.0
	小売業	13.6	△ 45.2	△ 15.0	△ 20.5	10.3	(17.9)	31.7	29.3

参考 2. 販売価格（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「上昇」超幅が大幅に拡大し過去最高水準、

来期は「上昇」超幅がほぼ横這いの見通し —

(1) [2022年7～9月期実績]

当期の販売価格D. I. は70.9と、「上昇」超幅が大幅に拡大となった。
業種別にみると、製造業で「上昇」超幅が大幅に拡大、卸売業、小売業で「上昇」超幅が拡大となった。

(2) [2022年10～12月期見通し]

来期の販売価格D. I. は72.2と、「上昇」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。
業種別にみると、小売業で「上昇」超幅がやや縮小となるものの、卸売業で「上昇」超幅がやや拡大、製造業で「上昇」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

表2. 販売価格D.I.

参考:販売価格D. I. (前年同期比、「上昇」-「下降」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年			2022年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	15.6	10.6	26.2	39.9	60.0	(70.7)	70.9	72.2
	① 上昇(%)	24.5	19.9	31.0	44.1	60.7	(70.7)	72.8	76.2
	不変(%)	66.7	70.9	64.1	51.7	38.6	(29.3)	24.5	19.2
	② 下降(%)	8.8	9.2	4.8	4.2	0.7	(0.0)	2.0	4.0
	製造業	18.8	8.6	19.4	35.0	53.3	(73.3)	67.2	68.8
	卸売業	20.5	19.5	44.2	52.3	63.4	(65.9)	71.7	76.1
	小売業	6.8	4.8	17.5	33.3	66.7	(71.8)	75.6	73.2

参考3. 在庫水準（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 「過剰」超幅がやや拡大 —

〔2022年9月期末〕

在庫水準D. I. は△5.3 と、前期末と比べて「過剰」超幅がやや拡大となった。
業種別にみると、小売業で「過剰」超幅が縮小となったものの、卸売業で「不足」超から「過剰」超に転じ、製造業で「過剰」超幅がほぼ横這いとなった。

表3. 在庫水準D.I.

参考：在庫水準D. I. （当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合）

（単位：％ポイント）

業種	区分	2021年			2022年		
		6月期末	9月期末	12月期末	3月期末	6月期末	9月期末
全産業	D. I. (①—②)	△ 14.3	△ 13.5	△ 8.3	△ 9.8	△ 2.9	△ 5.3
	① 不足(%)	2.7	2.8	7.6	4.2	6.4	7.3
	適正(%)	80.3	80.9	76.6	81.8	84.3	79.5
	② 過剰(%)	17.0	16.3	15.9	14.0	9.3	12.6
	製造業	△ 12.5	△ 17.2	△ 11.3	△ 10.0	△ 3.3	△ 1.6
	卸売業	△ 17.9	△ 7.3	△ 2.3	△ 11.4	2.4	△ 13.0
	小売業	△ 13.6	△ 14.3	△ 10.0	△ 7.7	△ 7.7	△ 2.4

参考4. 雇用判断

－ 当期は「不足」超幅が拡大、来期は「不足」超幅がやや拡大の見通し －

(1) [2022年7～9月期実績]

当期の雇用判断D. I. は40.9と、「不足」超幅が拡大となった。

業種別にみると、運輸業で「不足」超幅がほぼ横這いとなったものの、小売業、飲食店・宿泊業で「不足」超幅が大幅に拡大、製造業、情報通信業、サービス業で「不足」超幅が拡大、建設業、卸売業で「不足」超幅がやや拡大となった。

(2) [2022年10～12月期見通し]

来期の雇用判断D. I. は43.0と、「不足」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「不足」超幅が縮小、情報通信業で「不足」超幅がやや縮小となるものの、建設業、運輸業で「不足」超幅が拡大、卸売業、サービス業で「不足」超幅がやや拡大、製造業で「不足」超幅がほぼ横這い、小売業で「不足」超幅が横這いの見通しとなっている。

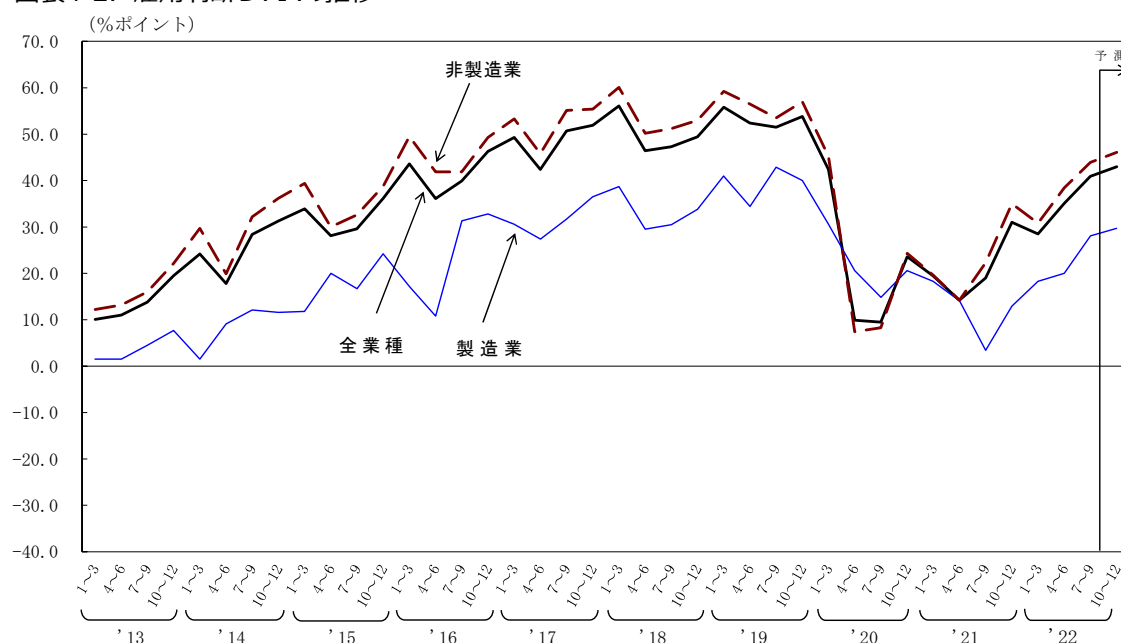
図表4-1. 雇用判断D.I.

参考: 雇用判断D. I. (当該期、「不足」-「過剰」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2021年			2022年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D. I. (①—②)	14.2	19.0	31.0	28.5	35.1	(37.5)	40.9	43.0
	① 不足(%)	26.0	29.0	36.6	36.0	39.0	(40.9)	43.9	44.8
	適正(%)	62.1	61.0	57.7	56.5	57.0	(55.8)	53.1	53.4
	② 過剰(%)	11.8	10.0	5.7	7.5	4.0	(3.4)	3.0	1.8
	製造業	14.1	3.4	12.9	18.3	20.0	(16.7)	28.1	29.7
	建設業	33.8	43.8	46.8	47.5	39.3	(41.0)	42.6	52.5
	卸売業	10.3	17.1	27.9	25.0	36.6	(36.6)	39.1	41.3
	小売業	11.4	11.9	25.0	17.9	30.8	(33.3)	41.5	41.5
	運輸業	8.6	11.8	32.4	12.5	39.4	(39.4)	38.7	45.2
	情報通信業	11.1	33.3	33.3	40.0	23.8	(23.8)	33.3	28.6
	サービス業	14.3	23.8	34.1	37.2	46.3	(48.8)	53.7	56.1
	飲食店・宿泊業	△ 10.7	0.0	40.0	25.0	48.3	(75.9)	59.3	51.9

図表4-2. 雇用判断D. I. の推移



参考 5. 経営上の問題点

— 2期連続「原材料高」が最多となり、調査開始以来 最も高い割合 —

[2022年7～9月期実績]

当面の経営上の問題点としては、2期連続「原材料高」（図表5-1の表頭④24.2%）の割合が最も高く、続いて「売上の不振」（同①16.2%）、「求人難」（同⑩14.4%）の順となった。

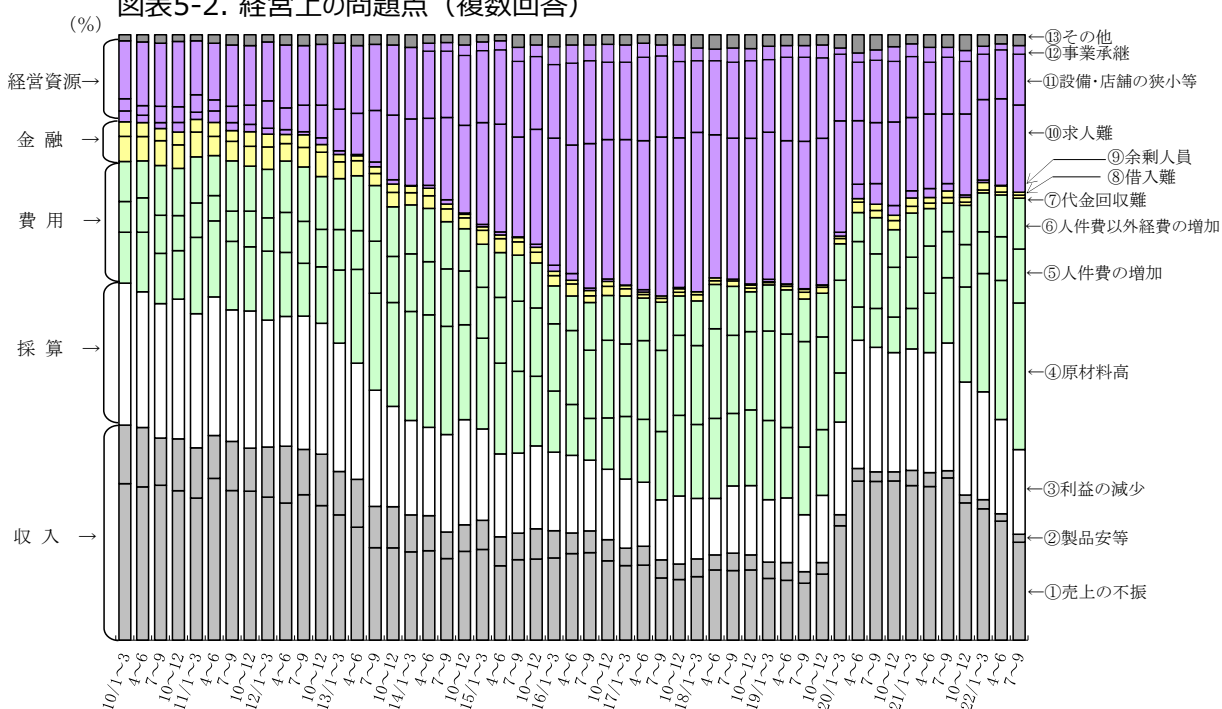
業種別にみると、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食店・宿泊業では「原材料高」の割合が、運輸業では「売上の不振」の割合が、サービス業では「求人難」の割合が最も高かった。また、情報通信業では「売上の不振」と「利益の減少」が同率で最も高かった。

図表5-1.経営上の問題点(複数回答)

(単位：%)

区分 業種	① 売上の不振	② 製品安等	③ 利益の減少	④ 原材料高	⑤ 人件費の増加	⑥ 人件費以外経費の増加	⑦ 代金回収難	⑧ 借入難	⑨ 余剰人員	⑩ 求人難	⑪ 設備・店舗の狭小等	⑫ 事業承継	⑬ その他
全産業	16.2	1.3	14.0	24.2	8.9	8.4	0.5	0.5	0.0	14.4	8.4	1.4	1.8
製造業	15.2	0.0	17.4	32.0	2.8	11.2	0.6	0.6	0.0	7.9	10.7	0.0	1.7
建設業	18.3	0.7	12.4	24.8	10.5	3.9	0.7	0.7	0.0	17.6	3.9	2.6	3.9
卸売業	13.2	4.1	14.0	28.9	9.9	10.7	0.0	0.8	0.0	12.4	4.1	0.8	0.8
小売業	10.7	1.9	12.6	26.2	9.7	7.8	1.0	0.0	0.0	13.6	13.6	1.0	1.9
運輸業	24.0	1.3	9.3	22.7	5.3	6.7	0.0	0.0	0.0	16.0	12.0	1.3	1.3
情報通信業	25.0	0.0	25.0	7.7	5.8	9.6	1.9	0.0	0.0	15.4	5.8	3.8	0.0
サービス業	13.6	1.9	10.7	9.7	17.5	11.7	0.0	1.0	0.0	19.4	9.7	2.9	1.9
飲食店・宿泊業	16.9	0.0	11.7	27.3	11.7	5.2	0.0	0.0	0.0	18.2	7.8	0.0	1.3

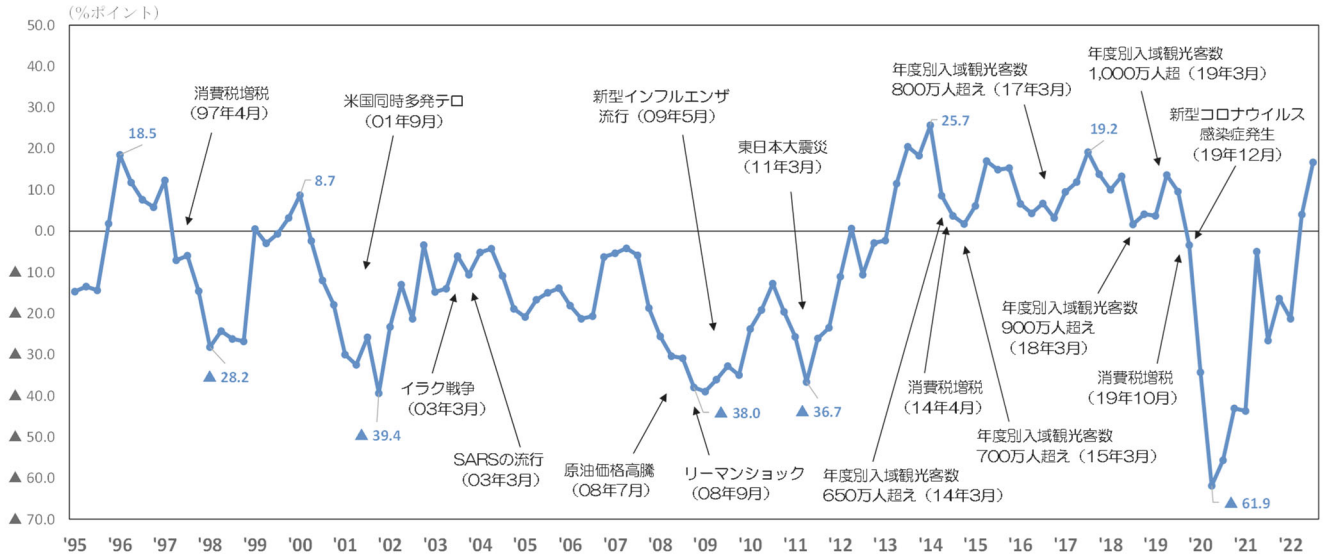
図表5-2. 経営上の問題点 (複数回答)



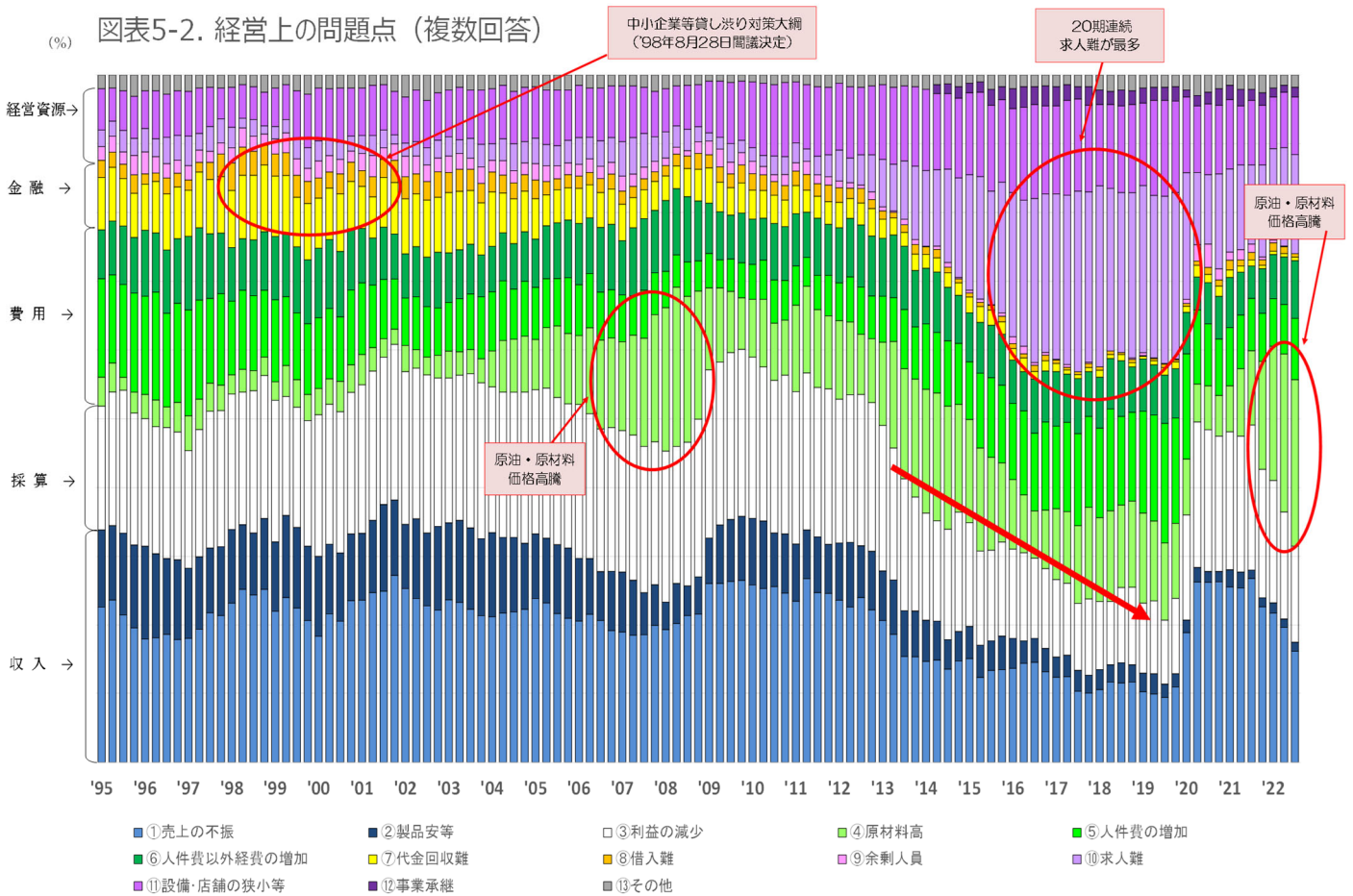
【参考】業況判断 D.I.及び経営上の問題点の長期推移

沖縄振興開発金融公庫創立 50 周年を迎えたことを機に、県内企業景況調査開始（1995 年 1-3 月期）以来の業況判断 D. I. 及び経営上の問題点の推移についてまとめた。

図表1-2.業況判断D.I.の推移



図表5-2. 経営上の問題点（複数回答）



注) 「⑩事業承継」については、2014年4-6月期調査より選択肢に追加。